

<凡例>

- 1 「眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者」の項目は、表中では「矯正視力のみ測定者」と標記した。
- 2 被患率の算出は、以下の計算式による。
被患率(%) = 各項目の該当者数 ÷ 各項目の受診者数 × 100 (小数点以下第3位を四捨五入)

各項目の受診者数(被患率の母数)は以下のとおりである。

- ・「栄養状態」「脊柱側弯症・脊柱異常」「胸郭異常」「四肢異常」「感染性皮膚疾患」「アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)」「アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)」「その他の皮膚疾患」「結核患者」「心臓疾患」「気管支喘息」「腎臓疾患」「言語障害」「その他の疾患・異常」→「受診者数」
- ・「裸眼視力測定者」の各項目及び「眼鏡等装用者」「矯正視力のみ測定者」
→「裸眼視力測定者」+「矯正視力のみ測定者」
(「裸眼視力測定者」・・・「裸眼視力測定者(1)～(4)の合計」)
- ・「感染性眼疾患」「アレルギー性眼疾患」「その他の眼疾患」→「眼疾患受診者」
- ・「難聴」→「聴力検査受診者」
- ・「耳疾患」「アレルギー性鼻疾患」「その他の鼻・副鼻腔疾患」「口腔咽頭疾患」
→「耳鼻咽喉科検診受診者」
- ・「(結核)精密検査対象者」→「結核検診受診者」
- ・「心電図異常」→「心電図検査受診者」
- ・「尿蛋白検出」「尿糖検出」→「尿検査受診者」
- ・歯及び口腔の検査の各項目→歯及び口腔の検査の「受診者数」

(注意)

- (1) 検査項目によっては、受診者数が「受診者数」欄の数値と異なる場合がある。
- (2) 各項目の疾病異常者の総数が、調査票上の各項目の受診者数と異なる場合があるため、被患率の合計が100%とならないことがある。

- 3 データ表中に用いた記号は次のとおりである。
 - 「-」該当なし(0名)の場合
 - 「0.00」計数が単位未満(0.005未満)の場合
 - 「…」検査の対象学年でない場合(検査が未実施の場合を含む)
 - 「(空白)」検査の対象学年であるが、受診者がいない場合